

3月5日 6年生を送る会校長講話

この日が来てほしいな、待ち遠しいなと思っていた人もいたかもしれませんが、まだ来ないでくれと思っていた人もいるかもしれません。

それは、**6年生を送る会**だからです。

今まで6年生がいてくれた学校生活が当たり前でしたが、その6年生が卒業してしまうのです。あと少しで。

寂しいですよ。悲しいですよ。

でも、これまでとてもお世話になり、感謝の気持ちを込めて各学年の出し物をしてくれた1～5年生の皆さん、ありがとうございました。6年生にその気持ちは十分に伝わっていますよ。

6年生の皆さん、皆さんと校長先生との出会いは、4月5日入学式の前日準備で学校に来てくれたときです。

そのとき、いろいろな仕事をきびきび行っていた6年生校長先生があいさつをしたら、「新しい先生かなあ。」と言っていた人もいました。

それからの一年間、たてわり、委員会、クラブでは常にリーダーシップを発揮し、運動会やアートの森では、さすが最高学年という姿、作品をたくさん見せてくれました。

移動教室でも6年生、とても素晴らしかったのですよ。

今日の合奏もさすが、6年生という迫力でしたね。

最初に、今日は6年生を送る会だから寂しい、悲しいと言いましたが、そういう気持ちもありますが、やはり、今日の会の一番は、6年生に感謝の気持ちを表し、そして、中学校でも頑張ってというエールの気持ちをもつことですよね。

**6年生、今までありがとうございました。
そして、中学校でも頑張ってくださいね。**

最後に、開一小は皆さんの母校です。いつでも遊びに来てくださいね。